

松田 千都 (まつだ ちづ : MATSUDA Chizu)

幼児教育学科

【職 名】 教授

【最終学歴】 京都大学大学院 教育学研究科教育学専攻 博士後期課程単位取得満期退学

【学 位】 修士(教育学)

【専門分野】 保育学、発達心理学、保育者養成教育

【担当科目】 乳児保育の基本、乳児保育の実際、保育者論、保育臨床相談、保育原理、地域子育て支援演習、絵本の世界、保育基礎ゼミナール、保育専門ゼミナール

【所属学会】 日本保育学会、日本発達心理学会、日本保育者養成教育学会、日本乳幼児教育学会

【研究課題】・個人:乳児期における社会的相互作用の発達支援

・共同:保育者養成校におけるカリキュラムと教育方法

【主な教育研究及び社会的活動】

(1) 著書:

- ・現場の視点で学ぶ保育原理、共著、教育出版(2016.3)
- ・新・育ちあう乳幼児心理学—保育実践とともに未来へ、共著、有斐閣(2019.12)
- ・新版教育と保育のための発達診断 下 発達診断の視点と方法、共著、全障研出版部(2020.12)
- ・新時代の保育双書 乳児保育[第4版]、共編著、みらい(2022.3)
- ・応用心理学ハンドブック、共著、福村出版(2022.9)

(2) 論文:

- ・保育者養成校における初年次の学びとしての保育実習指導 I —カリキュラムの体系に支えられた保育所実習指導—、筆頭著者、京都聖母女学院短期大学研究紀要、第 45 集、pp.54-67 (2016.3)
- ・アクティブラーニングを活用した保育実習事後指導 —保育実習 I の学びを促進する協同学習の取り組み—、筆頭著者、京都聖母女学院短期大学研究紀要、第 46 集、pp.32-46(2017.1)
- ・2年制保育者養成課程におけるカリキュラムの研究 —実習・実習指導を核とした保育教諭養成モデルの提案—、共著、こども教育研究、第2号、pp.35-48(2017.3)
- ・2年制保育者養成課程におけるカリキュラムの研究 —実習・実習指導を核とした施設保育士養成モデルの提案—、共著、こども教育研究、第3号、pp.47-62(2017.9)
- ・2年制保育者養成課程における相談関連科目の開講状況と授業内容、筆頭著者、京都文教短期大学研究紀要、第 61 集、pp.37-48(2023.3)

(3) 学会発表:

- ・2年制保育者養成課程における相談関連科目の教授内容と連携、共同、日本保育者養成教育学会、オンライン(2022.3)

(4) 社会的活動:

- ・近畿ブロック保育士養成協議会監事(2014.4~2020.3)
- ・月刊『ちいさいなかま』(ちいさいなかま社)編集委員(2016.11~)
- ・京都府保育協会 キャリアアップ研修、講師、「[乳児保育・教育]発達に応じた保育内容」(2022.8・9)
- ・保育プラザ JAPAN 保育プラザ研修、講師、「ゼロ・1歳児が心地よくすごせる保育」(2022.11)